



あけましておめでとうございます。新しい年が良い年でありますように。今年もどうぞよろしくお願いたします。

お知らせ

- #新年会（関西） 2019年1月12日（土） 草志舎
- #新年会（関東） 2019年1月19日（土） 成城学園地区
- #ヴォーリズ六甲山荘および第2プロパティ整備作業 2月より開始 日取りは後日ご案内
- #マーマレードづくり 3月5日（火） 草志舎
- #弥生の茶会 3月9日（土） 草志舎
- #ヴォーリズ六甲山荘 大掃除 3月23日（土）
- #ヴォーリズ六甲山荘 スタッフ研修と公開準備 3月30日（土）

第2プロパティ 2020年春の公開にむけて 一緒に作業しましょう！

昨年購入した第2プロパティはヴォーリズ六甲山荘の隣地で、かつて山荘のオーナーであった小寺家の借地でした。「小寺池」という池の名残もあり、それ以前の時代の旧道の石垣ものこっています。私たちはこの第2プロパティを「文化財と自然・遺跡の共生」というコンセプトで2020年春に公開する準備をすすめています。

2019年は一年をつうじてその作業を行います。土地は広く、作業はたくさんあります。苗木を植える、花を植える、土地を均す、池の泥をすくう、遊歩道を整える・・・

こうした作業を一緒にしてみませんか。それぞれの体調にあわせて軽作業と力仕事をふりわけます。原則として毎週末に行う予定です。日取りは順次ご連絡しますので、おいでになれる時にご参加ください。



旧道の石垣

この手前に花壇をつくります



小寺池の清流づくり



石垣、小寺池に向かう散策路

ヴォーリズ六甲山荘 2018年の実績

ヴォーリズ六甲山荘2018年度の一般公開は11月19日で終わりました。4月から7か月半の実績は右枠のとおりです。

昨年は六甲山荘購入10周年にあたりました。その記念行事としてナショナル・トラスト展を春秋に開催、会員の陶芸家角倉起美さん制作の記念プレートを敷地内に設置、お世話になった方々を招待しての記念会も開きました。

一方では悪天候に悩まされた年でもありました。台風と大雨で5日も休館しました。台風では敷地内の木が何本も折れましたが、建物には被害がなかったのは幸いでした。ただ表六甲ドライブウェイがあちこちで路肩の崩れなどを起こし、現在でも片側通行の部分があるため、路線バスが運休しています。2018年の六甲山荘の来場者がのび悩んだ一因もそこにあるようです。

スタッフ不足は相変わらずです。これまでよく出て下さったスタッフのうち諸々の理由で出にくくなった方が何人かおられる一方、新しいスタッフはあまり増えません。スタッフの人数が多くなると全員の負担が楽になります。けっしてむずかしい仕事ではありません。マニュアルもあります。今年こそぜひ挑戦してみてくださいませんか。お待ちしております。なお3月30日（土）にはスタッフの研修も行います。このチャンスにスタッフをはじめましょう！

公開日数	76日
来場者数	857人
一日平均	11.3人
スタッフ	のべ173人
スタッフ参加者	30人

【コラム】

無言の言葉

清水 彬久

去年は、いくつか生活スタイルを変更してみました。まず夜更かしから早寝早起き型にしたことです。そして、早朝6時に起床、すぐ近くの公園で自然浴をしながら読書（冬は自宅に変更）をした後、周囲の散策をします。海辺と一望する六甲山系を見渡し、街路樹の間を真っすぐに伸びる遊歩道を通り、渡り鳥のいる公園の池へと巡回するという時間は、自分を開放してくれる貴重な朝の習慣になりつつあります。

それにもまして、大切な時間があります。それは109歳（珍寿）になった母との面会です。残念ながら、以前には雄弁多弁に意見を述べていた母でしたが、最近になって余り話しをしなくなっていました。それでも最後にする会話は、「もう帰るからね」に対しては「ありがとう」、「また来るからね」に対しては「お願いします」という返事をしてきていました。しかし、体調を崩した後、その返答もほとんど発することがなくなりましたが、機能回復を願って反復する作業には黙々と応じてくれるのです。最後の同じ呼びかけに対しては、小さくうなずいてくれます。ああ分ってくれていると、無言の言葉に安堵するのです。時々言葉で反応してくれることがあり、一喜一憂する私には生きる勇気を与えてくれる真剣なひと時なのです。「おふくろ、がんばれ！」。

さて、当協会の話しに入りたいと思います。去年は、早いものでヴォーリズ六甲山荘を購入して10周年を迎えることができました。創立月にあたる7月には記念会を開催し、併せて記念プレートを設置披露してお祝いできたことを喜びとするものです。この間の見学者も万人を超え、全国からヴォーリズ建築ファンが訪れてこられ、六甲山における存在価値は高まってきていると言えるでしょう。また、六甲山荘の隣地にあたります第2プロパティの購入については、旧小寺山荘を復元することを目的に、6月阪神電鉄からの購入が完了しました。創立20周年にあたる2020年春には、「文化財と自然・遺跡の共生」というテーマで記念事業としてオープンすることになっています。第2プロパティの開発計画は、自然を活かした憩いの場をすることを基本としています。今年一杯かけて 小寺池の復活、旧道に築かれた遺跡といえる石垣を中心に据えたモニュメント会場を中心に開発整備していく予定です。すでに生息するアジサイや生ワサビのゾーンに加えて、野鳥のいる森とするため実のなる樹の植樹にも力をいれています。ヴォーリズ六甲山荘が文化財という歴史遺産を継承することに意義があるとすれば、第2プロパティは自然・歴史遺産の発見と価値の創造にこそ意義を見いだしていく活動だといえます。

新年にあたり、今年が創立20周年を迎えるための準備期間として新たな眼で当協会の理念を押し進めていきたいと思っています。

今日も行く古きを捨てし初日の出

トラストユース・センター第Ⅶ期生募集

次の世代をになう若い人材を育てようというトラストユース・センターの第Ⅶ期生を募集します。現在当協会ではカルロス・ショネンベルグさん（エルサルバドル出身・大阪大学）が学生会員として在籍、いろいろな活動に参加しています。彼は春には就職です。学生会員として活躍してくれたハナ・イスタムさんは英国に帰って働いています。

彼らに続く学生を求めています。このアメニティ便りに募集要項を同封しておりますので、お知り合いの若人に声をかけていただけませんか。もっと枚数が必要でしたらお送りいたします。

若い人たちのエネルギーをぜひ当協会に！！

新年会（関東地区）のご案内

今年の新年の集まりは成城学園住宅地の見学という楽しい半日です。成城学園の移転とともに発展した住宅地で、古くからの住宅建築も残っています。今回はそのなかで旧猪股邸（吉田五十八設計）と旧山田家住宅（区指定文化財）を見学し、洋菓子店で懇親会をします。初春のひと時を楽しみましょう。

月日：1月19日（土）

集合：13時30分 小田急電鉄「成城学園前」駅西口改札の外

参加費：1500円

締め切り：1月15日 なお定員15名になり次第締め切ります

詳細は同封の案内チラシをご覧ください。ホームページにも掲載されています。



旧山田家住宅

弥生の茶会のご案内

梅の花をながめながら薄茶を楽しむ会です。草志舎の枝垂れ梅が見頃をむかえる時期に立礼での点前で、作法にこだわらず気軽に一服いかがですか。ご希望の方にはお弁当も用意いたします。

月日 **3月9日(土)**
午前11時～午後3時(入場は2時半まで)
場所 草志舎(阪急西宮駅から徒歩3分)
内容 薄茶席
参加費 会員1000円 一般1500円
お弁当 1200円見当(希望者のみ・要予約)
申込締切 3月8日
(お申込みの際 お弁当の有無もお知らせください)



詳細は同封の案内チラシをご覧ください。ホームページにも掲載されています。

ご報告 ほりだし市 11月3日(土・祝) 草志舎

今年も皆さんからたくさんのお手作りの品や寄贈品のご寄付をいただき、前日の準備や当日のスタッフも大勢参加してくださって、にぎやかな市となりました。今回は3月に訪問した五島列島の産物を取りよせました。うどん、塩、干物、ソーセージなどの名産品です。そのうち五島うどんと生節はお昼ごはんのメニューにもとりいれました。

スタッフの皆さん、出品してくださった皆さん、ありがとうございました！
お昼ごはんメニュー：肉団子、コールスローカレー風味、花豆、青菜と生節の和え物、すまし汁(五島うどん)



ご報告 畑儀文の合唱教室 11月12日(月) 12月17日(月)

練習の前後にはいつもコンサートの情報がとびかうのですが、普段からお忙しい畑先生も教室の参加者の皆さんもコンサートや「第九」の練習などスケジュールが詰まっているようで、芸術の秋だなあと実感します。

ご報告 六甲山荘大掃除&暖炉とワインを楽しむ会 11月23日(金・祝)

4月から11月半ばまで7か月半の一般公開を終え、山荘の大掃除とご苦労さま会をかねてひらきました。春と秋に恒例となった三井住友信託銀行のボランティアが大勢参加してくれました。男性陣は庭の落葉掃きと落葉焚き、女性陣は室内で高所のすす払いや拭き掃除、家具の片付けなどで、若手ならではの活躍をしてくれて、仕事がおおいにはかどりました。作業のあとはみんなでにぎやかに和やかに昼食を楽しみました。

<参加記> 吉川晃司(三井住友信託銀行ボランティア)

今回、私は初めてヴォーリス六甲山荘の清掃活動に参加いたしましたが、「貴重な文化財を保護していく」という意義のある仕事をさせていただくという目的のため、最初は少々緊張感をもって始めました。

室内清掃は、細やかに丁寧に清掃できる女性班にお願いし、男性班は、落ち葉拾い・運搬作業を行いました。少し湿った落ち葉拾いは地道な作業でしたが、体はすぐに温まり、覚悟していた寒さは全く感じず、心地よい六甲山の秋を感じながらの気持ちよい体験へと変わっていきました。また初めて回転草刈り機を使う体験もさせていただきました。協会の方に

「前に前に進むように」「足を怪我しないように」と的確なアドバイスをいただいたお陰で、慣れない私も徐々に草刈り機を使いこなせるようになり、作業も捗って達成感も得ることができました。温かい御指導、ありがとうございました。

掃除が終わってあとに協会の方が用意くださったお料理は、寮生活をしている私にとっては、とても美味しく感じられ疲れも吹っ飛びました。

ロープウェイに乗って、六甲の紅葉を楽しむことが出来たことも、大変嬉しいことで、私にとって清掃活動というよりは、とても楽しい秋の体験となりました。

今回、これだけの広大な土地の、ほんの一部を清掃するだけでも、大勢の人手が要



ののだということを知りました。今回は、今回の経験を活かして、お役に立てる仕事ができるよう頑張りたいです。

ご報告 下期セミナー 京都・二条城と杉本家訪問 12月1日(土)

大変充実した一日でした。二条城では40年間現地で補修の仕事に携わってこられた坂井清さんによる丁寧な解説、どんな質問にも答えてくださる案内で、2時間があつという間にすぎました。杉本家では杉本節子さんが建物の案内がてら杉本家の成り立ちや生活について語ってくださり、やわらかな語り口ながら歴史ある町屋を守るご苦労と誇りが伝わってきました。



<参加記>

清水順子

何十年ぶりかの二条城。40年間二条城の修復保全に関わってこられた坂井清さんの丁寧な説明をききつつ、驚きながらまわりました。修復がなったばかりで絢爛とした姿の唐門。二の丸御殿で大名が控えていたという「遠侍」という狭い部屋。釘の場所はどこかと思うくらい大きくて豪華な釘かかし。デザインはシンプルだけどすぐれた細工の襖の引手。とくに印象的だったのはいたるところにある菊の紋と菊紋の下に隠された葵の紋。御殿の破風の飾りが台風が強風で飛ばされたその下にも葵紋の浮彫が隠されていました。300年の間徳川の権威を誇示していたものが次の施政者に上書きされるという姿は、心がざわめくものがありました。

昼食は室町の「膳處漢ぼつちり」。昭和初期の呉服店の洋館、和館、蔵をいかして北京料理の魅力的な店としています。

午後はアメニティ2000協会の賛助会員でもある杉本家を訪問。杉本家保存会の理事で料理家でもある杉本節子さんが案内をしながら、杉本家の成り立ちや建物の歴史、財団設立の経緯などを話してくださいました。年中行事の記録である「歳中覚」のコピーも見せていただきました。古い建物の維持にはお金と手間がかかりますし、杉本家には建物だけでなく有形無形の文化が传承されています。社会環境が猛スピードで変化しているこの時代に、それらを次代に伝えようというご家族の意思は、「歳中覚」を書き伝えてきた杉本家代々の人々の意思でもあったと感じました。



千葉大学からの作業応援

11月にうれしい出来事がありました。8月のシンポジウムに参加した千葉大学の顔原准教授と学生さんたちが第2プロパティの作業のためにやってきてくれたのです！若い人たちの参加はマンパワーとしてもありがたいですが、何より忙しいなかの週末を使って“作業をしたい！”と遠路やってきてくださる心意気がうれしいですね。ちょうど予定していた作業日をふくめて3日間若い力を発揮していただきました。

山荘はもう寒いので宿泊は草志舎で、山を下りたあと芦屋温泉(芦屋市営の天然温泉)でお風呂にはいり、そのあとスタッフも一緒に夕食会をし、楽しい3日間でした。
日程：11月10日(土)～11日(日) 4名 11日(日)～12日(月) 1名



学生さんたちが書かれた参加記を以下に掲載します。ご覧ください。

<吉田亜友美(千葉大学建築学科4年)>

現在私は大学で、建築史について学んでいます。そこで、建築活動には既存の修築・保全という選択も含まれ、むしろ現代の日本はそちらへ向かうべきことを知り、残された価値ある建物を心地よく長く使っていきたく思うようになりました。しかし、過去の事例を知れば知るほど、土地環境系の事業は大きなうしろだてや利益の見込みが無いと成立しづらく、また、日本では新築よりも修築しながら保全していくことの方がまだ困難である(メンテナンスの継続・使用材料を集める・費用・昔の技術・残すことへの理解、など)ことが分かりました。こんな状況で、実際に環境保全活動が実を結ぶのは何割だろうか、そもそも行動に移す人はどれだけのいるのだろう、と思っていたので、「アメニティ2000協会」の方々の活動には大変興味があり活動に参加させていただきました。

まず参加して感じたことは、皆さんが楽しさと期待をもって参加していることです。自分の手で美しい環境を作っていく楽しさ・汗を流す楽しさ・交流する楽しさ。私も、今まで埋もれていた宝物を発掘して磨いているようなワクワクを感じました。このことは、本心からの山荘への愛着につながりました。

そして、保全維持だけでなく遊歩道という新たな価値を付加し、より良い土地となる工夫を考えていらっしゃいました。この前傾姿勢は、義務心ではなくまず本心でこの土地を良くしたいと思うからこそ、だと思います。

最後に、素晴らしいお食事と宿泊場所とお話をありがとうございました。あれから、住みよい環境づくりのために、ま

ず自分が楽しさをもってできることはなんだろう、と考えています。

<伊賀上詩織 (千葉大学穎原研究室 4年) >

今回、初めて六甲山荘での活動に参加させていただきました。参加をきっかけとし、ナショナルトラストやアメニティ 2000の活動についてきちんと理解することができ、文化財保存についてはもちろん、公益について深く考えることができるようになったと感じています。六甲山荘近くの作業した場所を、今後わさび園や池にしたり、ツリーハウスなどが建てたりできるのではと清水さんが楽しそうにお話ししてくださるのを聞いて、私自身はもちろん、より多くの人が皆様の活動をより理解し参加できるようになればと思いました。



また、普段では感じられないことを六甲山荘に行ったことで得られたと思います。空気がとても澄んでいて、空の色もいつもより綺麗に見える自然の中で、作業をし、体を動かし、作っていただいた美味しいご飯を自然の中で皆さんと一緒に食べ、夜には体が疲弊してぐったり寝ました。いつもの日常では味わえないことを経験できました。数日でしたが、本当に密度の濃い、素晴らしく充実した時間でした。秋も深まった時期で、六甲山荘に宿泊することは叶いませんでしたが、それでも六甲山荘で作業をさせていただくことができたので、朝から夕方にかけての時間変化で変わる山荘の美しさや、魅力などをより感じる事ができたと思っています。

またぜひ、今度は六甲山荘に宿泊できる季節に伺いたいです。そして今回感じたことを自分自身、今後生かしていけるよう精進して参りたいと思います。初めての参加でしたが暖かく迎え入れていただき、貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

「私にできる恩返し」 <月嶋 教佑 (千葉大学大学院穎原研究室) >

二回目の六甲山、そして二回目のヴォーリズ六甲山荘に、この夏に引き続き短期の間に訪れる機会を頂きました。

今回はワークの参加をさせて頂きました。夏にシンポジウムに参加させて頂いた際のワーク以来、続きがしたくてうずうずしていたところにワークのお誘いを頂き、嬉しいばかりで楽しみにしていたのが、つい先日のように感じます。



数ヶ月振りに山に入ると、山は見違えるほどに整備されており、私の知らない数ヶ月の間の協会の皆様の努力をしみじみ感じさせて頂いたのがスタートとなりました。負けてはいられまいと、持ち前の体力と元気を生かし、たった二日間のワークの中でいかに貢献できるか、と無我夢中になれたのもなかなか経験できないことで、すごく満足しております。

触れるまでもないかもしれませんが、今回も協会の皆様には非常にご丁寧に接して頂き、誠に光栄な限りです。私はこちらから参加させて頂いたメンバーの日程とは一日のズレがあり、二日目のワーク参加は私一人で行っていました。しかし、そのことも非常に快く承諾くださり、たくさんもてなして頂きました。皆様の気持ちのこもったお食事は美味しく非常に温かく、少し肌寒い中でのワークでしたが非常に体の芯から温まりました。

今回は11月の参加で山荘に泊めて頂くのはさすがに寒いということもあり、草志舎に宿泊させて頂きました。これもまた非常にとても良い経験となり、心踊ったのが正直なところ。初めて躰口をくぐらせて頂いたのもとても良い思い出です。毎度協会の皆様には感謝してもし尽くせない場面ばかりです。

まだまだ未熟な私ではございますが、今後もワークやシンポジウムを通して少しでも恩返しをしていければ、と思う次第でございます。ありがとうございました。

六甲山荘たより

10月、11月の六甲山荘

六甲山観光が主催する六甲山上の名建築をめぐるツアーが4回山荘に来場されました。ほかにも団体がありにぎやかな秋でした。11月10日から12日にかけて千葉大学から作業応援があり、23日は大掃除とワインを楽しむ会もひらきました。12月3日(月)には水道の閉栓作業も行いました。これでいよいよ山荘は冬ごもりです。

タイ交流旅行について

アメニティ便り 11月号でご案内しましたタイ交流旅行ですが、現在のところ申込者がありません。またこのプロジェクトの主要メンバーが本人や家族の健康問題のため旅行に参加できなくなりました。このため2019年2月に予定していた交流旅行は中止いたします。

ただタイ・プロジェクトの初期からタイ交流旅行参加者有志が交付してきたバンマカド校への奨学金が今年度で終了するため、学生・教師・家族との同窓会に出席するため清水順子が一人でチェンマイを訪問してきます。皆さんを代表しての一人旅は少しさびしいですが、子供たちやチェンマイYMCAのスタッフと交流を楽しむことができます。

募金のご報告～10月11月

10月、11月に次の方々から募金をいただきました。

ありがとうございました。(敬称略)

<六甲山荘屋根葺替え資金>

《10月11月合計 46,870円 2018年度累計 463,940円》

<一般資金>

《10月11月合計 125,000円 2018年度累計 380,600円》

*文化遺産継承基金

《10月11月合計 171,870円 2018年度累計 844,540円》

マーマレードをつくりましょう!

熊本の中嶋祐一さんの甘夏を使って今年もマーマレードを作ります。添加物を一切使わないおいしくて安全なマーマレードができます。皆さんから寄付して下さったガラス瓶に詰めて冷凍保存し、六甲山荘で売ったり、希望者にお届けします。このマーマレードをご一緒に作ってみませんか。

3月5日(火) 午前10時半～夕方

草志舎にて(阪急西宮北口駅から徒歩4分)

一部の時間でも結構です。

持ち物: エプロン、包丁

なお昼食は簡単ですが用意します。

おいでになれる方は3月3日までにご連絡ください。

アメニティ・レポートの原稿募集

5月の総会にあわせて「アメニティ・レポート2018」を発行します。そのなかの皆さんの投稿欄「会員の声」への原稿を募集します。ふだん思っていること、最近読んだ本、見た映画、腹のたつこと、笑ったこと・・・なんでも結構です。友だちにおしゃべりするような気軽な気持ちで文章にしてお寄せください。

字数 400字前後

締め切り 3月末日

FAXでもメールでも郵送でも、事務局までお送りください。

皆さんの原稿お待ちしております。

チェンマイYMCAからのグリーティングカード

ガラス瓶をご寄付ください

右上欄にありますように3月5日に甘夏のマーマレードをつくります。それにそなえてガラスの空き瓶を求めています。マーマレードをいれる小ぶりの瓶がありましたら、ご寄付いただけませんか。手許にあるという方はご連絡ください。受け渡しについてご相談させていただきます。

